

第4回 原村総合計画審議会への質疑等について

原村総合計画審議委員 半田 裕

<第1節 人と自然を大切にしたい美しく住みよい村づくり>

P14 1-1-1

- ・ どのような開発指導基準の整備を行う予定か。

P15 1-1-2

- ・ 美しい村づくりへの取り組みへの具体的な施策が必要では。特に課題で若い世代ほど効果を感じられないと挙げたのであれば、どのような手段での情報発信や活動をしていくかの施策は載せるべき。(ex. インスタグラム等 SNS を活用した PR や企画、子ども・若者向けの自然体験イベント)

P16 1-1-3

- ・ 前期の振り返りの中で上げられている「景観形成協定団体のみの活動だった」というのは重要な課題。しっかりと計画内の現状と課題に載せ、それに対する解決策も具体的な施策に載せるべきでは。

P20 1-2-1

- ・ 「1人当たりの家庭系ごみ量」と「ごみのリサイクル率」について前期の振り返りの資料に挙げられている評価値と後期計画の現状値で大きく差があるが正しいのはどちらか。

・

P19 1-2-3

- ・ 前期で達成指標としていた主要河川の全窒素含有量は達成できていない。その中で削除をするのではなく、具体的な施策として水質検査をあげている 1-1-6 か課題に窒素が挙げられている 1-4-3 の達成指標に追加したらどうか。

P24 1-3-1

- ・ 具体的な施策①文章内の「新エネルギーの導入促進」は「再生可能エネルギー」に変更しないか
- ・ 原村新エネルギー・省エネルギー推進委員会の活動実績と活動内容
- ・ 議会からの要望書、また総合戦略でも温室効果ガスの排出削減目標が出されている中で、計画内でも達成指標に削減目標と具体的な施策を乗せるべきでは。県のゼロカーボンに賛同している中で、県の目標は10年で30%の実質減となっているが村では少しハードルを下げ5年で10%の実質減を目標としたらどうか。
- ・ 10%目標は実質減とすることで①森林整備・植林による吸収量の増加や②再生可能エネルギーの比率が高い電力会社への変更、等使用エネルギー量を下げずとも環境負荷を下げる方法も併せて活用していけば達成可能では。
- ・ 実際に使用エネルギーを下げる方法としては①公共施設の LED 化②新たに建設する施設への太陽光パネルの設置③古い変圧器の更新など

P27 1-4-2

- ・ 前期計画の目標値に対して延長距離の達成距離がとても低いですが、課題と対策は。また、新たな目標値が R3 年からの累計となっているが現状値は累計ではなく R1 に実施した分か。累計ではないのであれば比較する上で目標値も単年にした方が良いのでは。

P28 1-4-3

- ・ これまでも浄化槽の清掃率や法定点検率の低さが課題となっている。目標値を達成するためには新たな取り組みが必要と考えるがどのような検討がなされているか。

P29 1-4-4

- ・ 現状と課題で述べられているように整備事業が終了し、今後は維持管理に移行していくのであれば、達成指標も老朽管の布設替え延長など維持管理について評価できる指標にするべきでは。

P30 1-5-1

- ・ 新たな住宅団地の分譲について、前期計画の 1 区画を達成できていない中で後期に 5 区画を達成することが可能か。どのような方法をとっていくか。

P33 1-5-4

- ・ これまでも整備は行われていますが、有効な活用がされていないという課題があるかと思います。整備と合わせて、活用されていくことが重要であるため、具体的な施策②として、「公園、緑地の活用促進」として、各区と連携して公園や緑地を活用した行事等の機会づくりを図ります、といった内容を追加してはどうでしょうか。
- ・ 活用されえ行く上で住民も主体的に関わることが重要であるため、前期計画や、振り返り資料の第 2 期総合戦略における方針にも載せられている「住民自らがデザインした愛着のある公園整備も検討します」を計画の 4 年後のめざす姿にも是非掲載をお願いします。
- ・ 成果指標として公園の新規整備数が削除されていますが、新規ではなく既存の公園でも改修が必要な公園がいくつかあるかと思います。(特に各地区の小さな公園) これらの公園の改修を目標値に設定し整備していったらどうでしょうか。

P37 1-6-3

- ・ 達成指標の交通事故発生件数の理想は 0 件の中で、現状値に対して目標値が同数の 17 件になっている。前期で 2 件減少できたことを考えると後期も 2 件減少の件としてはどうか。

P38 1-6-4

- ・ 公共交通の充実の中で、課題となるのは村内の通学通勤（駅へのアクセス）、買い物や病院へのアクセスについてが最重要課題。高速バス関連については前期で十分な対応がされたと考えるので終了して検討の時間や予算を村内の交通手段の検討に注力したほうがよいのでは。

P40 1-7-1

- ・ 女性消防団員の確保は何を目的として行うのか。団員の確保と消防力の強化という点で、各分団に配置され消防活動にも参加してもらうのか。喇叭隊として活躍してもらい、その分男性団員が消防活動に注力するのか。目的がはっきりしていない中では集めることも難しく、また入ってくれた女性団員もどう活躍したらいいのか困ってしまっている。

P46 1-7-5

- ・ 毎年定期的に行っている危険個所の把握をそのまま達成指数にするのはどうか。回数を増やす、もしくは河川改修の目標を決め、その実施を指標としてはどうか。